

図書室だより ～注目の新着本を紹介します～

利 用 案 内	
幌延図書室 開館時間…【月～金】 9:30～20:00 【土・日・祝】 9:30～17:00 休館日…12月30日～1月6日 電 話…5-1321	問寒別図書コーナー 開館時間…【月～金】 9:30～22:00 【土・日・祝】 9:30～17:00 休館日…12月30日～1月6日 電 話…5-1321

一般図書

『スマホ脳』

著：アンデシュ・ハンセン



平均で一日四時間、若者の二割は七時間も使うスマホ。教育大国スウェーデンを震撼させた、社会現象となった世界的ベストセラーがついに日本上陸。

【問寒別】

『これを英語で言えるかな？』

著：こあら为学校



これ、ぜんぶ英語で言えますか？
「日常でよく使うのに、いざ言おうとすると、とっさに出てこない英単語」が盛りたくさん。

YA(中学生以上の方におすすめ)

『はじめての』

著：島本 理生、辻村 深月、宮部 みゆき、森 絵都



文芸の最前線で活躍する4人の直木賞作家が、“小説を音楽にする”ユニットYOASOBIとコラボレーション。小説のテーマは、「はじめて〇〇したときに読む物語」。

『卒業 桜舞う春に、また君と』

著：汐見 夏衛、丸井 とまと、河野 美姫、水葉 直人



桜舞う春、別れと出会いの季節に、さまざまな登場人物が葛藤し成長していく姿に心救われる一冊。

絵本・児童書



『だいたいどーこだ？』

著：遠見 才希子

性教育のはじめの一步は、自分の「からだ」を知ること。からだの大切さだけではなく、一人ひとりが大切な存在ということを伝える”はじめての「からだ」と「性」のえほん”です。

【問寒別】



『おおきなかぶ〜』

著：ガタロー☆マン

ある日 おじいさんが はたけをたがやしにいくと、おおきなかぶが はえてい……ました！！ガタロー☆マンが今回描くお話は「おおきなかぶ〜」

気 象 台 一 口 ヶ モ

乾燥の季節・火の取り扱いに注意



雪が解けて、道内では桜の花も咲き始め、宗谷地方にも春の足音が聞こえ始めました。

春は、大陸の乾いた空気を持った移動性高気圧に覆われて晴れる日が多くなることや、南高北低の気圧配置となり、南西の風が強まることで空気が乾燥する時期となります。雪解けも進むこれからの季節は、屋外レジャーなどで火を使うことが多くなり、火災の危険が増える時期でもあります。加えて、風が強く吹いた場合、山火事が発生すると広範囲に燃え広がり、被害は甚大なものになることがあります。

気象台では空気中に含まれる水分の割合を湿度として観測しています。この観測値をもとにして、空気の乾燥度を予想し、一日のうち最も低い湿度である「最小湿度」が30%以下で、且つ 木材の乾燥具合を表す「実効湿度」が60%を下回る予想となった場合に「乾燥注意報」を発表し、火の取り扱いに注意を促しています。

日頃から火の取り扱いに気を付けていらっしゃると思いますが、みなさんの財産や森林を守るためにも「乾燥注意報」や降水を伴わない「強風注意報」が発表された場合は、火の取り扱いへの更なる注意をお願いします。

お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話 0162-23-2679